

南山大学広報誌

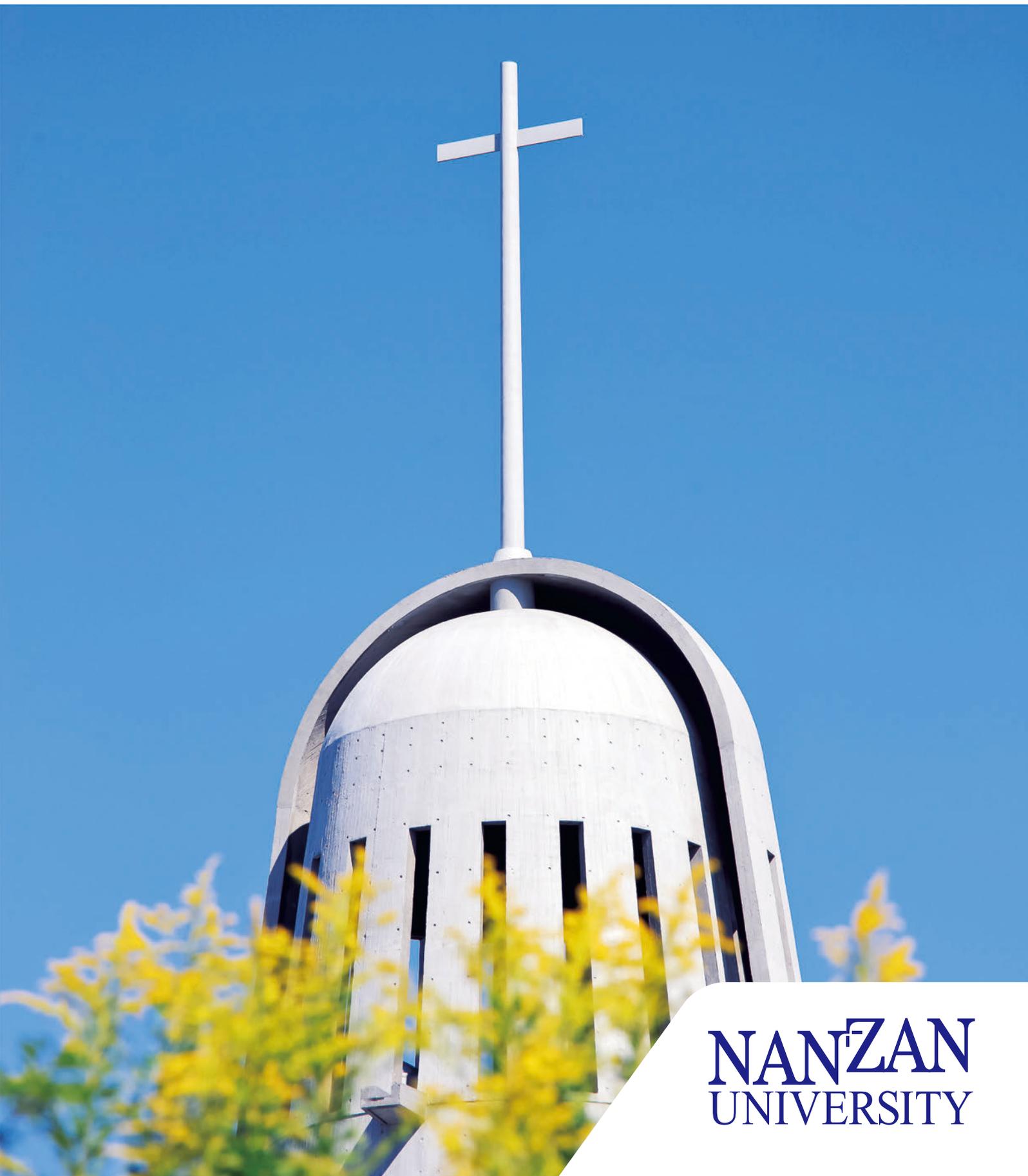
NANZAN

BULLETIN vol.210
2019. 9. 30

特集

活躍する南山大生

～スポーツ・芸術・文化～



NANZAN
UNIVERSITY

活躍する南山大生

～スポーツ・芸術・文化～

東京オリンピック2020 強化指定選手に選出

国際教養学部
国際教養学科1年

松代 龍治さん



本学国際教養学部国際教養学科1年松代龍治さんが、カヌー競技で、2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業における強化指定選手に選出されました。

お父様がカヌーのトップ選手として活躍されており、北京、ロンドン両五輪では日本代表コーチを務められていたことで、松代さんにとってカヌーは幼少期から身近な存在でした。松代さんがカヌーを始めたのは中学1年生。最初は水上でバランスをとることも難しく何度も転覆しましたが、水の上で、水を切り進んでいくことの魅力に気づきました。2年後の中学3年生で出場した全国中学生カヌー大会では、カヤックシングル500mで見事優勝。その後高校2年生で出場したインターハイでもカヤックシングル500mで優勝を果たしました。持久力とパワーが必要で、毎日トレ

ニングをしなければ身につかないため、現在は週7日・約20時間練習をしています。平日は、陸上でカヌーと同じ動作ができるエルゴというマシンで練習をし、週末にはみよし市にある三好池に行き船に乗っています。

将来は外国でカヌーを続けたいとの思いから、英語や現地の言葉でコミュニケーションをとることが必要になると考えた松代さん。「英語で学ぶ」ことを基本として、学科科目の多くを英語で学ぶ本学国際教養学部を選んだとのこと。日々、帰宅後は練習に励みながら授業の宿題にも取り組み、翌朝は早朝から授業が始まるまで練習という生活を送っており、学業とカヌーの両立を必死にこなしていると言います。「今回、オリンピック強化指定選手に内定したことは大変嬉しく思っています。まずは次の全日本選手権に向け、1日1日を大切に過ごしていきたいです。」と話してくれました。



交換留学先にて、 ミュージカルに出演

外国語学部
スペイン・ラテンアメリカ学科3年

岡原 真之介さん



本学外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科3年の岡原真之介さんが、留学先のメキシコでミュージカルのオーディションに合格、稽古に励んでいます。

岡原さんがミュージカル俳優になるという夢を抱いたのは小学生の頃。「自分ではない誰かの人生を生きることができる」という部分に魅せられ、レッスンに励み様々なオーディションに挑戦してきました。高校生で英語のミュージカルに参加した際にメキシコからの留学生と知り合い、スペイン語やメキシコに興味を持ったことで、本学スペイン・ラテンアメリカ学科に進学。メキシコに留学が決まり、現地ではスペイン語でミュージカルのオーディションを受験しました。そして、Marroquí Producciones 主催の『Kinky Boots』と『A Chorus Line』の2作品に合格。周りは皆スペイン語圏の国出身という環境の中で、歌やダンス、演技力を認めてもらえた嬉しさの一方で、語学力を課題として日々勉強しています。

留学先では、平日の日中は授業を受け夕方から夜まで様々なジャンルの

ダンスレッスン、土曜日は『Kinky Boots』、日曜日は『A Chorus Line』の稽古という生活を送っています。学業との両立はとても大変ですが、どちらも大好きなので苦痛には感じないという岡原さん。舞台上で演じるためには多くの知識が必要になるため、2つは繋がっているようにも感じると言います。「現在は2作品に参加していますが、いずれもアマチュアの舞台。次はプロの舞台に参加することが目標です。留学後にメキシコで舞台活動を続けるか、日本で再開するかはまだ決めていませんが、いずれにせよこのまま挑戦を続けて、プロのミュージカル俳優を目指したいと思っています。また、現在学んでいるメキシコ、日本のLGBTQ+の問題について、当事者・支援者・ストレートそれぞれの視点に立って、留学経験を生かして活動をしていきたいと思っています。」と話してくれました。



ソサイチ スペイン遠征に選抜

外国語学部
スペイン・ラテンアメリカ学科3年

伊藤 諒大さん



今春開催された、ソサイチ*選抜2019 スペイン遠征 東海&関東セレクションに、外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科3年伊藤諒大さんが出場、見事スペイン遠征メンバーに選抜されました。(*ソサイチ…南米発祥の7人制サッカー)

サッカーをされていたお父様の影響で、幼少期からサッカースクールに通っていたという伊藤さん。小学校入学と同時に少年団に所属し、以来サッカーに夢中で取り組んできました。スペインのサッカーに興味があったこと、またスペイン語は世界的に話者人口の多い言語であることから、本学スペイン・ラテンアメリカ学科に進学。現在は、体育会のサッカー部と一般社団法人日本ソサイチ連盟に所属しており、週5日ほど練習に励んでいます。学業との両立にあたり、やはりそれぞれに使える時間は少ないけれど、その分日々の生活にメリハリがつき、充実した毎日を送ることができているとのこと。

今回のスペイン遠征は7日間。現地で伊藤さんが感じたのは、日本のサッカーとの違いでした。スペイン人選手は、フィジカル面やテクニックなど日本人選手には無いものを持っており、またサッカーに対する愛や情熱も日本人とは異なることが印象的だったそうです。そして迎えたスペイン7人制サッカー全国選手権(Campeonato de España de Fútbol 7)。伊藤さんは大会中3得点を決め、所属する東海チームは日本勢初の決勝トーナメントに進出しました。結果的に、残念ながら決勝トーナメントで勝利を掴むことはできませんでしたが、日常を飛び出し、慣れない土地で挑戦したことは貴重な経験となったようです。

今回の経験をとおして、「サッカー選手を目指したいという気持ちもありますが、まずはサッカー部を、所属している東海2部リーグで優勝、あるいは東海1部リーグに昇格させることが目標です。」と話してくれました。



ペルー政府より叙勲

国際地域文化研究科
国際地域文化専攻博士前期課程2年

野内セサル良郎さん



日本マチュピチュ協会会長を務める、本学国際地域文化研究科国際地域文化専攻2年野内セサル良郎さんが、日本とペルーの友好関係強化とペルー文化の普及に貢献したとして、ペルー政府から功労勲章を受章しました。

野内さんは16歳の時に出稼ぎのためペルーから来日。工場勤務をしながら日本語を習得し、定時制高校を経て大学を卒業。その後、名古屋国際センターの講師や、東海三県の学校などでペルーの文化を伝える活動を続けてきました。そして、ペルー日本人移民をより深く研究したいと思い、本学大学院に入学。ラテンアメリカ地域への理解を深めるカリキュラムがあること、また自身がカトリック信者であることから、カトリック系ミッションスクールである本学を選んだと言います。

経済的理由により就学困難な状況にあるペルーの多くの子供たちと昔の自分が重なり、「子どもたちに夢を持つこと、諦めない心を伝えたい」「祖父が創ったマチュピチュ村に貢献したい」との強い思いから、日本マ

チュピチュ協会を設立しました。協会では、講演やイベントなどをおしてペルーの文化やペルー日本人移民の歴史と祖父である野内与吉氏の歴史を伝える活動や、日系人の為のESD(持続可能な開発のための教育)を視野に入れた活動、マチュピチュ村をはじめとしたペルーの子供達への学用品等の支援を行っています。

野内さんは、今後についてこれからも引き続き、講演やイベント活動を通じてマチュピチュ村への観光促進、保全へとつなげ、ペルー日本人移民の歴史を語り継ぎたいです。さらに子どもたちへの教育支援に加え、障がいを持つ子どもたちへの支援と学校も創りたいと考えています。そして、祖父とペルー日本人移民の歴史を日本だけでなく世界中で発表し、私にこの素晴らしい人生を与えてくれたペルーと日本に恩返しをしたいと思ひます。」と話してくれました。



(写真提供:一般社団法人 野内与吉資料館)

会計検査院事務総長として、我が国の会計検査を牽引

腰山 謙介

法学部法律学科
1984年3月卒業

Profile

1984年4月に会計検査院に入庁。様々な局の調査官を経て、事務総長官房人事課長、第2局長、事務総局次長などを歴任し、2018年12月に事務総長就任。



一 会計検査院とは

会計検査院は、我が国の会計検査を担う長い歴史と伝統を持つ国家機関です。国会や内閣、裁判所から独立して、国や法律で決められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるよう監督する職責を担っています。会計検査院は、「検査官会議」と「事務総局」で組織されています。事務総局が会計検査を行い、その結果についての検査報告案を検査官会議に提出します。検査官会議は、その検査報告案について審議し、可決されたものが国会に報告されます。

一 様々な経験から、現在の立場へ。

入庁してからは、農林水産検査や防衛検査、国土交通検査など様々な局を経験し、調査官として書面検査はもちろんのこと、全国各地に赴いて実地検査を行いました。また、JICA(国際協力機構)にも3年ほど出向し、政府開発援助の現場を経験しました。事務総局次長を務めていた際は、国会の答弁に使用される原稿を全て確認し、私自身も答弁を行いました。そして現在は、事務総長という立場で事務総局の「局務を統



理」しています。事務総局が国民の期待に沿うような検査を行っているか、また職員が国家公務員としての職責を果たすようなモラルの維持・向上に努めているかということに注意し、そのための職場環境の整備および仕事の進め方の改善に心を砕いています。

一 仲間との出会いに期待し、南山大学へ。

私の祖父が裁判官、叔父が憲法学者、父も法学部の出身とあって、もともと法学に興味がありました。加えて名古屋生まれ・名古屋育ちであり、地元の大学に進学したいという思いと、熱心に勉強に取り組む仲間の良い刺激が受けられるのではないかという期待から、南山大学に入学しました。

入学してからの2年間は、部活動に没頭していました。体育会の軟式庭球部に所属しており、みっちり練習を重ねた記憶があります。体力もつき、自分の知らない世界を見ることができ交友関係も広がりました。仲間と一緒に汗を流し、夢中になった経験は今でも財産になっています。

一 「急がば回れ」勉強を通じて得た力は、現在に繋がっている。

3年生からの2年間は勉強漬けの毎日でした。大学入学当初から意識していた国家公務員試験の受験のためです。難関な試験であったため、合格できるかということについては半信半疑ながらも、基本的なところに立ち戻り、一から勉強を始めました。受験雑誌を参考にしながら、大学の教科書だけでなく「法律学全集」の「憲法I、II」などの基本書を何度も通読しました。いずれも相当厚みのある本を前に、最初は本当にできるの

かと不安に思いましたが、苦戦しながら勉強を進めていくうちに面白さも感じられるようになりました。4年生の春頃には模擬試験などでもかなり手応えを感じるようになり、「急がば回れ」と言われるように何事も基礎からしっかりやるのが大切だということを身をもって実感しました。そして受験勉強をする中で、読んで正しく理解する力、また体系について全体を俯瞰する力が身についたと思っています。それは現在仕事をする上でも必要な「全体を俯瞰して物事を見る力」に繋がっています。



一 豊かな人生を送るために自分は何をしたいのか。

学生の皆さんも、自分の将来について真剣に考える時期がそのうちやってくると思います。どのような職業に就くにせよ、大学時代の経験はとても大切なものになります。今は在学中にインターンシップなど様々な経験ができると思いますので、そういう経験を通じて自分にとって必要なものを捨選択することが大切です。豊かな人生を送るために自分は何をしたいのか、真剣に進む道を決めていただければと願っています。

キャリア支援室 プログラム紹介

ランチタイムに キャリアサポートプログラムを実施します！

キャリア支援室主催のプログラムは、授業が少ない水曜日の午後や平日の5限以降に開催していますが、部活動やサークル活動等でなかなか参加できない学生の皆さんも参加しやすいように、ランチタイムにもセミナーを実施しています。お昼ごはんを食べながらの参加も可能です。授業の合間を活用し、ご自身のキャリアについて考えてみましょう。

〈実施予定のプログラム〉

秋冬インターンシップ講座

・日時：【文系】2019年10月1日(火)
【理系】2019年10月8日(火)
12:45～13:15
・対象：3年生

はじめてのインターンシップ講座

・日時：【文系】2019年10月22日(火)
【理系】2019年10月29日(火)
12:45～13:15
・対象：1年生・2年生

・内容：年々重要度が高まっている秋・冬インターンシップについて、またこれからはじめてインターンシップに参加しようとしている1・2年生の皆さんに、参加に向けての心構え、企業・機関の選び方などをお伝えします。

学生生活デザイン・セミナー

・日時：確定次第、PORTAおよび大学公式webページ「キャリア支援室」でお知らせいたします。
<http://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>

・対象：2年次生推奨

・内容：自分自身の現状を理解し、これからの学生生活で何ができるか考えるためのプログラムです。自分自身の課題や目標を考える材料として適性テストを受検し、結果を参考にしながら今後に向けた目標設定を行います。

※プログラムの申込み方法等詳細は今後PORTAで公開予定です。
学生の皆さんは、ぜひ参加してください。



昨年度のインターンシッププログラムの様子

秋学期のキャリア支援室プログラム紹介

低年次から万全の体制でキャリア形成をサポートしています。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

10月	テーマ別ワークショップ 「女性の働き方」「営業職の仕事」など	ワークを通じて、テーマ毎に必要な能力・資質とは何かを考えます。
11月～1月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。

就職支援プログラム(2021年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	これまでの振り返り、秋学期のスケジュールの確認など
10月～1月	就職講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
10月・11月	筆記試験対策	SPI模試、SPIフォローアップ講座
10月・11月	業界・職種研究会【公務機関】	国・地方など各機関の担当の方から業務内容や仕事のやりがい等についてお話を伺います。
12月	グループ選考・エントリーシート対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座、ES準備ワークショップ
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
1月	面接対策	面接準備ワークショップ
3月	学内会社説明会 【2018年度実績：文系 330社／理系 84社】	学内で南山大生を対象とした会社説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンス、障がいのある学生のためのガイダンスを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

Special Events

2019.6.5

「南山チャレンジプロジェクト」 採択式

6月5日に、2019年度「南山チャレンジプロジェクト」のプロジェクト採択式を行いました。

「南山チャレンジプロジェクト」は、学生が主体となり、学内の活性化や大学での学びを生かした取り組み、地域との交流、国際交流などを推進する課外活動を大学として支援し、学生の成長につながる機会を作り出すことを目的として2017年度からスタートしました。

4つの募集テーマ(①南山大学を活性化させる活動、②学びを深める活動、③地域交流活動、④国際交流活動)に合致した学生企画の課外活動を募集し、選考の結果、下記6件を採択しました。



プロジェクト採択式の様子

採択式では、岡田学生部長より採択グループ代表者に採択通知書が授与され、各グループの代表者が取組みへの意気込みを語りました。

【採択された取組み名称【グループ名】および内容】

●南山大学で廃棄される傘の再利用 【Green Wave】

南山大学で忘れ物として届けられた傘を、一定期間経過後(廃棄可能な時期)に、Green Waveが受け取り、雨天時に南山大学内で傘の無償貸出を行います。この活動により、傘の廃棄量の削減と、学生の環境問題に対する意識向上を図ります。

●南山大学生と学生団体を繋げる 総合メディアプラットフォームの作成 【Mocchy】

南山大学の課外活動団体や団体が作成しているフリーペーパー、各種イベントに関する情報を発信する総合メディアプラットフォームの構築を目指します。これにより、南山大学生の課外活動に関する情報を効率よく収集することが可能となります。

●全国の高校を招いたバスケットボール大会の実施 【南山大学バスケットボール部】

東海地方だけでなく、カトリック高校も含めた全国の高校から何校か招待し、南山大学でバスケットボールの試合を行います。南山大学の全国知名度向上という狙いと、スポーツ交流の場を日本全国に広げることが目標としています。

●ドイツ語学習とドイツ人留学生の交流 【Deutscher Stammtisch in Nagoya】

名古屋で日本人とドイツ人の持続的なコミュニティを作り、文化交流を図ります。南山大学生のほか、他大学の学生にも参加していただき、日本人とドイツ人の友好を深めます。

●Nanzan AID 【NANZAN We-Go】

愛知県・日本を支える若者達との議論を行う場の創造と、著名な中部の出身者や南山大学卒業生、在学生によるプレゼンテーションを実施し、南山大学生に学生生活を有意義に過ごすためのインスピレーションを与えます。

●三重県四日市市富洲原地区の廃棄漁網及び製糸のアップサイクル事業 【RePurposed富洲原】

廃棄予定の漁網や製糸を利用してミサンガなどのアップサイクル製品を作ります。また、三重県四日市市の漁網産業が栄えた街での歴史探訪を実施し、南山大学生と他大学生の交流の機会を創出するとともに、アップサイクル事業の理解を深めてもらいます。

Special Events

2019.7.5-2019.7.7

第60回上南戦

7月5日から7月7日の3日間にわたり、第60回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦が上智大学で開催されました。各競技で熱戦が繰り広げられ、最後まで勝負がわからない接戦の試合もありました。総合成績は南山大学11勝、上智大学20勝、引分け1で総合準優勝となりましたが、参加した選手たちをはじめ、応援団、OB・OGの方々、父母の皆さま、教職員など、関係者が一つとなり、各会場は大いに盛り上がりました。

総合優勝
上智大学

総合準優勝 南山大学
総合成績11勝20敗1引分
第1回大会からの通算成績 南山17勝 上智38勝 引分5



水泳	南山 183 - 206	上智
アイスホッケー	南山 3 - 15	上智
弓道(男子)	南山 90 - 77	上智
弓道(女子)	南山 40 - 45	上智
ゴルフ	南山 1 - 5	上智
ハンドボール	南山 30 - 24	上智
準硬式野球	南山 5 - 9	上智
硬式野球	南山 4 - 3	上智
バレーボール(女子)	南山 3 - 1	上智
バレーボール(男子)	南山 3 - 0	上智
バドミントン(男子)	南山 2 - 3	上智
バドミントン(女子)	南山 4 - 1	上智
少林寺拳法・合気道*	南山 1 - 4	上智
柔道	南山 3 - 2	上智
剣道(男子)	南山 2 ^(3本) - 2 ^(4本)	上智
剣道(女子)	南山 0 - 5	上智
硬式庭球(男子)	南山 2 - 7	上智
硬式庭球(女子)	南山 1 - 4	上智
洋弓(男子)	南山 3512 - 3470	上智
洋弓(女子)	南山 2171 - 2369	上智
アメリカンフットボール	南山 16 - 30	上智
陸上競技	南山 115.5 - 118.5	上智
サッカー	南山 2 - 2	上智
ラグビー	南山 13 - 79	上智
卓球(男子)	南山 3 - 4	上智
卓球(女子)	南山 2 - 3	上智
フェンシング	オープン競技として実施	

2019.7.15

南山ゆかたフェス

7月15日に、南山ゆかたフェスを開催しました。昨年度に続き3回目となる開催で、ゆかたを着ることで日本文化に親しみ、学生・教職員同士の交流を図ることを目的としています。天候が心配されましたが、無事に開催のはこびとなり、当日は多くの学生・教職員が参加しました。



ゆかたの無料着付けコーナー、ゆかた販売、メインストリートやグリーンエリアでの撮影会、アカペラ発表、縁日、フォトコンテストなど、どのイベントも大盛況でした。



2019.7.15 (月)
ゆかたフェス

写真提供: 文藝春秋写真部

Special Events

2019.7.20-2019.7.21

オープンキャンパス

7月20日、21日に、2019年度オープンキャンパスを開催しました。

学科説明会をはじめ、在学生によるキャンパスツアー、相談コーナー、クラブ活動紹介などさまざまな企画を実施しました。

各学科の教員による模擬授業や、実際にその学科に所属する学生がそれぞれ学んでいることについて分かりやすく説明する学生企画もあり、来場者は興味深そうに聞き入っていました。

どの企画も盛況で、2日間合わせて過去最高の

8,713名の方にご来場いただきました。



2019.8.5-2019.8.9

夏休み水泳教室

8月5日から8月9日までの5日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。

この教室は、小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教える毎年人気の教室で、今年も受講者は99名と、盛況でした。6種類のコースから希望コースを選択して泳力別に分けられたグループごとに練習を行い、たくさんの受講者の方々が楽しみながら泳ぎの上達を目指しました。



2019.8.26-2019.8.30, 2019.9.14

小・中学生向け講座

「大学で、未来の自分を探してみよう！」

南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした8講座を開講しました。いずれの講座も大学の教室や施設を利用して、教員や学生と一緒に学ぶ体験型の講座です。

博物館での講座では、縄文土器などの展示物に実際に触れながら楽しく考古学を学びました。



Special Events Schedule

2019.10.12

野外宗教劇「受難」

10月12日(土) 18時からパッパ・スクエアで第53回野外宗教劇「受難」を公演します。

野外宗教劇「受難」はカトリック大学である本学を代表する伝統行事であり、イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴダの丘における十字架の死を経た復活までを、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わるすべてのことを学生たち自身が行います。



2019.10.26

受験生と保護者のための入試説明会(事前申込制)

10月26日(土) 12時30分~17時に、「受験生と保護者のための入試説明会」を開催します。これは、本学の一般入試、全学統一入試、センター利用入試の受験予定者と高校生の保護者向けのイベントで、当日は受験生向けと保護者向けにそれぞれ説明会などを実施します。また、個別相談コーナーや在学生によるキャンパスツアーも実施予定です。詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。

http://www.nanzan-u.ac.jp/admission/



2019.11.2-2019.11.4

大学祭「南山祭」

11月2日(土)から11月4日(月)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「rainbow」。このテーマには、「記念すべき70回目の大学祭なので、七色の虹のように華やかに来場者の皆様がわくわくするような大学祭を作り上げよう」という思いが込められています。

学内団体によるステージ企画や、クラブ・サークルによる活動内容の展示・発表、模擬店などさまざまな企画をご用意しております。



News

本学卒業生が「直木賞」受賞

第161回直木三十五賞(日本文学振興会主催)に南山短期大学(現・南山大学短期大学部)人間関係科卒業生、大島真寿美さんの「渦 妹背山婦女庭訓 魂結び」が選ばれました。

受賞作は、江戸時代の坂本・道頓堀を舞台に活躍した人形浄瑠璃の作者、近松半二を主人公にした芸術小説で、大島さんは2回目の直木賞候補での受賞となりました。

ご受賞、誠にありがとうございます。



(写真提供: 文藝春秋写真部)

2018年度決算・2019年度予算について

2018年度は、前年度からスタートしたキャンパス整備計画「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」において、学生のためのセミナー室、グラウンドの人工芝、学生用のロッカーなど、様々な整備を行いました。

このプロジェクトは、本学キャンパスの設計者であるアントニン・レーモンド氏の設計思想である「自然を基本として」を継承するものであり、今後2021年度まで、学生生活環境や学習環境の充実に向け、建物改修・外構整備等を進めていきます。

本学では、「NANZAN BULLETIN」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めています。今回は、2018年度決算および2019年度予算について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

2018年度決算について

第1表は資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。(以下、予算額は補正予算額を指す)

収入の部では、学生生徒等納付金収入が予算額に対して4百万円減少しました。補助金収入が予算額に対して97百万円増加しているのは、私立大学等経常費補助金の一般補助が2017年度決算額に基づき算出されており、レーモンド・リノベーション・プロジェクトによる教育研究経費支出および教育研究用機器備品支出(計算書上は設備関係支出に含まれる)が高額であったことが影響しています。寄付金収入は予算額に対して41百万円減少していますが、2018年度より募集を開始したレーモンド・リノベーション・プロジェクト募金への寄付が116百万円(うち後援会より100百万円)あるなど、前年度の寄付金収入に比べると増加しています。

支出の部では、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出とも、予算額内で執行しました。レーモンド・リノベーション・プロジェクトの改修費用は、教育研究経費支出・施設関係支出・設備関係支出等に計上されています。

なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2018年度は総額15百万円の援助があり、バッチ研究奨励金の原資として充当しました。

第2表の活動区分資金収支計算書は、教育、施設整備等、その他の3つの

第1表 2018年度 資金収支計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,224,066	10,219,598	4,468
手数料収入	770,813	765,734	5,079
寄付金収入	360,804	319,867	40,937
補助金収入	1,085,897	1,182,718	△ 96,821
資産売却収入	60	50	10
付随事業・収益事業収入	188,149	180,125	8,024
受取利息・配当金収入	52,753	62,856	△ 10,103
雑収入	314,163	301,007	13,156
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,172,237	1,977,951	194,286
その他の収入	2,708,644	2,602,209	106,435
資金収入調整勘定	△ 2,424,803	△ 2,417,045	△ 7,758
当期収入合計	15,452,783	15,195,071	257,712
前年度繰越支払資金	34,022,563	34,022,563	0
収入の部合計	49,475,346	49,217,634	257,712

支出の部

科 目	予算額	決算額	差異
人件費支出	6,951,665	6,890,379	61,286
(退職金支出)	(343,335)	(344,741)	(△1,406)
教育研究経費支出	4,110,543	3,985,074	125,469
管理経費支出	730,755	636,022	94,733
借入金等利息支出	59,114	59,111	3
借入金等返済支出	512,810	512,810	0
施設関係支出	1,211,459	1,161,084	50,375
設備関係支出	520,705	498,279	22,426
資産運用支出	900,000	900,000	0
その他の支出	2,750,188	2,702,439	47,749
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 1,885,159	△ 1,846,828	△ 38,331
法人本部費配賦額	788,803	794,544	△ 5,741
当期支出合計	16,650,883	16,292,914	357,969
翌年度繰越支払資金	32,824,463	32,924,721	△ 100,258
支出の部合計	49,475,346	49,217,634	257,712

活動区分毎に資金収支を見ることができるようにした計算書です。教育活動資金収支は、学生生徒等納付金・補助金・寄付金などの収入と人件費・教育研究経費などの支出といった、本来の学校教育活動に係る収入・支出です。第2表を見ていただくと、教育活動資金収支は2,165百万円の収入超過となっています。

第2表 2018年度 活動区分資金収支計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,224,066	10,219,598	4,468
手数料収入	770,813	765,734	5,079
特別寄付金収入	345,304	311,352	33,952
一般寄付金収入	15,500	8,515	6,985
経常費等補助金収入	1,059,806	1,147,214	△ 87,408
付随事業収入	188,149	180,125	8,024
雑収入	313,560	298,379	15,181
教育活動資金収入計	12,917,198	12,930,919	△ 13,721
人件費支出	6,951,665	6,890,379	61,286
教育研究経費支出	4,110,543	3,985,074	125,469
管理経費支出	729,878	635,120	94,758
教育活動資金支出計	11,792,086	11,510,573	281,513
差引	1,125,112	1,420,346	△ 295,234
調整勘定等	669,388	744,976	△ 75,588
教育活動資金収支差額	1,794,500	2,165,322	△ 370,822
施設設備補助金収入	26,091	35,504	△ 9,413
南山大学名古屋C施設設備拡充引当特定資産取崩収入	50,000	50,000	0
南山大学将来構想基金引当特定資産取崩収入	144,960	144,960	0
施設整備等活動資金収入計	221,051	230,464	△ 9,413
施設関係支出	1,211,459	1,161,084	50,375
設備関係支出	520,705	498,279	22,426
南山大学施設設備拡充引当特定資産繰入支出	400,000	400,000	0
施設整備等活動資金支出計	2,132,164	2,059,363	72,801
差引	△ 1,911,113	△ 1,828,898	△ 82,215
調整勘定等	862,606	570,577	292,029
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,048,507	△ 1,258,321	209,814
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	745,993	907,001	△ 161,008
長期貸付金回収収入	24,216	39,778	△ 15,562
預り金受入収入	2,207,981	2,084,175	123,806
貯蔵品売却収入	60	50	10
その他の収入	21,222	22,880	△ 1,658
小計	2,253,479	2,146,883	106,596
受取利息・配当金収入	52,753	62,856	△ 10,103
過年度修正収入	603	2,627	△ 2,024
その他の活動資金収入計	2,306,835	2,212,367	94,468
借入金等返済支出	512,810	512,810	0
大学短期留学籍基金引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0
長期貸付金支払支出	39,500	28,500	11,000
預り金支払支出	2,325,542	2,298,371	27,171
その他の支出	24,282	22,972	1,310
小計	3,402,134	3,362,653	39,481
借入金等利息支出	59,114	59,111	3
過年度修正支出	877	902	△ 25
その他の活動資金支出計	3,462,125	3,422,666	39,459
差引	△ 1,155,290	△ 1,210,299	55,009
調整勘定等	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 1,155,290	△ 1,210,299	55,009
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	788,803	794,544	△ 5,741
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	△ 1,198,100	△ 1,097,843	△ 100,257
前年度繰越支払資金	34,022,563	34,022,563	0
翌年度繰越支払資金	32,824,463	32,924,721	△ 100,258

施設整備等活動資金収支はレーモンド・リノベーション・プロジェクトの支払があるため1,258百万円の支出超過であり、その他の活動資金収支は1,210百万円の支出超過となっており、法人本部費配賦額795百万円の支出を加え、南山大学全体では1,098百万円の資金減少となっています。ただし、施設整備等活動資金支出およびその他の活動資金支出において、特定資産繰入を合計900百万円行っており、この分は実質的な資金減少とはなっていません。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顛末を表しているのに対し、第3表の事業活動収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを見るための収支状況を表しています。第3表は第2表同様に3つの活動区分に分かれており、それぞれの区分毎の収支状況を見ることができます。この3つの活動区分のうち、特別収支を除く、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支により、学校の経営状況を見ることができます。経常収支差額は191百万円の収入超過となりましたが、当年度収支差額はレーモンド・リノベーション・プロジェクトによる基本金組入額増加や、

第3表 2018年度 事業活動収支計算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金	10,224,066	10,219,598	4,468
手数料	770,813	765,734	5,079
寄付金	364,304	327,165	37,139
経常費等補助金	1,059,806	1,147,214	△ 87,408
付随事業収入	188,149	180,125	8,024
雑収入	411,180	397,049	14,131
教育活動収入計	13,018,318	13,036,886	△ 18,568
人件費	7,006,535	6,905,982	100,553
(退職給与引当金繰入額)	(398,205)	(360,344)	(37,861)
教育研究経費	5,308,586	5,190,584	118,002
(減価償却額)	(1,194,543)	(1,197,036)	(△ 2,493)
管理経費	848,627	750,967	97,660
(減価償却額)	(118,719)	(116,180)	(2,539)
徴収不能額等	0	2,209	△ 2,209
教育活動支出計	13,163,748	12,849,742	314,006
教育活動収支差額	△ 145,430	187,145	△ 332,575
受取利息・配当金	52,753	62,856	△ 10,103
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	52,753	62,856	△ 10,103
借入金等利息	59,114	59,111	3
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	59,114	59,111	3
教育活動外収支差額	△ 6,361	3,745	△ 10,106
経常収支差額	△ 151,791	190,890	△ 342,681
資産売却差額	30	0	30
その他の特別収入	31,844	49,484	△ 17,640
(現物寄付)	(5,150)	(10,671)	(△ 5,521)
(施設設備補助金)	(26,091)	(35,504)	(△ 9,413)
(過年度修正額)	(603)	(3,310)	(△ 2,707)
特別収入計	31,874	49,484	△ 17,610
資産処分差額	21,901	19,225	2,676
その他の特別支出	150,877	131,182	19,695
特別支出計	172,778	150,407	22,371
特別収支差額	△ 140,904	△ 100,922	△ 39,982
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	770,765	776,506	△ 5,741
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,063,460	△ 686,539	△ 376,921
基本金組入額合計	△ 406,286	△ 645,306	239,020
当年度収支差額	△ 1,469,746	△ 1,331,845	△ 137,901
前年度繰越収支差額	8,263,698	8,263,068	630
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	6,793,952	6,931,223	△ 137,271

(参考)

事業活動収入計	13,102,945	13,149,227	△ 46,282
事業活動支出計(※)	14,166,405	13,835,766	330,639
経常収入	13,071,071	13,099,742	△ 28,671
経常支出	13,222,862	12,908,853	314,009

(※)法人本部費配賦額を含む。

旧瀬戸キャンパスの処分費用等が影響し、1,332百万円の支出超過となっています。なお、当年度収支差額の支出超過は、少なくともレーモンド・リノベーション・プロジェクトが完了するまで続く見込みです。

第4表の貸借対照表は、年度末時点における資産、負債、純資産(基本金+繰越収支差額)の状態を表しています。資産の部では、有形固定資産は4,645百万円の減少となりましたが、この大半は2018年度期首において、旧瀬戸キャンパスの土地・建物を学園内の聖霊高等学校・中学校に移管したことによるものです。

また、特定資産は先述した通り900百万円の繰入を行っています。この影響により流動資産の現金預金は減少が大きくなっています。他方、負債の部はレーモンド・リノベーション・プロジェクトによる未払金増加により、合計で505百万円増加しました。また、純資産の部では、先述した旧瀬戸キャンパスの土地・建物の移管等により、基本金は9,442百万円減少、翌年度繰越収支差額は3,793百万円の増加となりました。

第4表 貸借対照表

(2019年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部			
科 目	2018年度末	2017年度末	増減
固定資産	39,497,802	43,539,947	△ 4,042,145
有形固定資産	38,167,020	42,811,730	△ 4,644,710
土地	9,193,414	10,428,014	△ 1,234,600
建物	20,488,133	24,346,559	△ 3,858,426
構築物	1,566,349	1,244,174	322,175
教育研究用機器備品	1,024,669	776,522	248,147
管理用機器備品	20,025	18,809	1,216
図書	5,849,831	5,926,397	△ 76,566
建設仮勘定	24,599	71,255	△ 46,656
特定資産	1,040,000	334,960	705,040
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0
南山大学名古屋C施設設備拡充引当特定資産	0	50,000	△ 50,000
南山大学将来構想基金引当特定資産	0	144,960	△ 144,960
南山大学短期留学籍奨学金引当特定資産	500,000	0	500,000
南山大学施設設備拡充引当特定資産	400,000	0	400,000
その他の固定資産	290,782	393,257	△ 102,475
電話加入権	5,672	6,301	△ 629
施設利用権	4,339	4,339	0
長期貸付金	57,734	69,013	△ 11,279
ソフトウェア	223,037	313,604	△ 90,567
流動資産	33,265,791	34,366,754	△ 1,100,963
現金預金	32,924,721	34,022,563	△ 1,097,842
未収入金	265,382	264,837	545
貯蔵品	6,136	7,028	△ 892
立替金	92	1,719	△ 1,627
前払金	69,461	70,607	△ 1,146
資産の部合計	72,763,593	77,906,701	△ 5,143,108

負債の部

科 目	2018年度末	2017年度末	増減
固定負債	9,705,646	9,713,287	△ 7,641
長期借入金	6,759,680	7,272,430	△ 512,750
長期未払金	790,300	104,125	686,175
退職給与引当金	2,000,543	2,083,609	△ 83,066
長期預り金	155,123	253,123	△ 98,000
流動負債	3,986,291	3,473,279	513,012
短期借入金	512,75		

2019年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、第5表が示す通り、2018年度決算では学生生徒等納付金比率78.0%、補助金比率9.0%となっており、この2つの金額が収入の大部分を占めています。この収入構造は2019年度予算においても同様で、今後も学生数確保、および補助金・寄付金などの外部資金獲得に向けさらなる努力を続けていく所存です。

レーモンド・リノベーション・プロジェクトについて、2018年度はF棟、G棟、J棟、K棟、M棟の一部が改築され、ラーニング・コモンズや学生セミナー室の使用が始まりました。また、グラウンドの人工芝整備、クラブハウスの改修が完了し、体育・クラブ活動での活用が見込まれます。2019年度中には教室棟の整備が完了し、その後は外構等の整備を進める予定です。

レーモンド・リノベーション・プロジェクトの推進にあたっては、2022年3月までを

期限とした「レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」を2018年7月より開始しております。募金で集まった資金は、上述の整備内容をはじめとした、キャンパスアメニティの改善、学生生活環境・学習環境の充実に活用させていただく予定です。

2019年度学長方針において触れている将来構想において、これまで説明した「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」によるキャンパス整備に加えて、「組織再編」を掲げております。2019年度には、法学研究者や高度専門職業人の養成を目指す法学研究科も新設されました。これからは、構成員同士が知恵と技術を持ち寄り協働する「One Campus Many Skills」のメッセージを具体的に実現することが課題となります。本学の教育・研究のより一層の充実のため、「絶えざる自己改革」の精神に基づく組織再編に向け、学部レベルではキャンパス統合が完了した成果を踏まえ、現代の科学技術・情報化時代に対応できる教育を展開するために、理工学部における学科の再編を検討します。

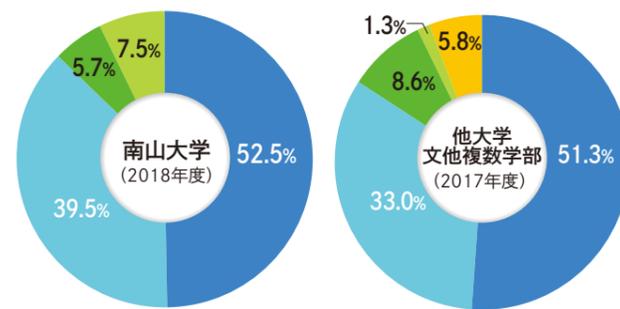
第5表 財務比率

事業活動収支計算書関連

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2016年度	2017年度	2018年度	2017年度	
人件費比率	人件費／経常収入	52.4%	51.2%	52.7%	52.0%	↓
人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	65.9%	64.3%	67.6%	62.2%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	28.2%	32.5%	39.6%	33.5%	↑
管理経費比率	管理経費／経常収入	7.6%	6.9%	5.7%	8.7%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.5%	0.5%	0.5%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	79.5%	79.6%	78.0%	83.6%	↑
補助金比率	補助金／事業活動収入	8.0%	7.8%	9.0%	7.2%	↑
基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	1.0%	6.6%	4.9%	10.5%	↑
減価償却額比率	減価償却額／経常支出	10.1%	12.1%	10.2%	12.3%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学	他大学文他複数学部
	2018年度	2017年度
人件費	52.5%	51.3%
教育研究経費	39.5%	33.0%
管理経費	5.7%	8.6%
その他の事業活動支出額	7.5%	1.3%
基本金組入額+当年度収支差額	-5.2%	5.8%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2017年度	2018年度	2017年度	
純資産構成比率	純資産／(総負債+純資産)	83.1%	81.2%	88.2%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債+純資産)	4.0%	9.5%	△15.7%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産／流動負債	857.3%	719.2%	260.2%	↑
減価償却累計額／減価償却資産取得価額		44.0%	41.1%	52.1%	～
総負債比率	総負債／総資産	16.9%	18.8%	11.8%	↓
負債比率	総負債／純資産	20.4%	23.2%	13.4%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成30年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2分子・分母とも図書を除く。

第6表 2019年度 資金収支予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	10,267,978
手数料収入	771,881
寄付金収入	258,361
補助金収入	1,082,043
資産売却収入	30
付随事業・収益事業収入	201,084
受取利息・配当金収入	53,015
雑収入	149,678
借入金等収入	0
前受金収入	2,171,565
その他の収入	2,413,742
資金収入調整勘定	△ 2,304,958
当期収入合計	15,064,419
前年度繰越支払資金	32,824,463
収入の部合計	47,888,882

支出の部

科目	予算額
人件費支出	6,803,250
(退職金支出)	(173,987)
教育研究経費支出	3,292,451
管理経費支出	743,765
借入金等利息支出	71,407
借入金等返済支出	512,750
施設関係支出	599,455
設備関係支出	353,476
資産運用支出	132,000
その他の支出	3,356,891
予備費	25,585
資金支出調整勘定	△ 1,138,811
法人本部費配賦額	294,499
当期支出合計	15,046,718
翌年度繰越支払資金	32,842,164
支出の部合計	47,888,882

第7表 2019年度 活動区分資金収支予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	予算額
学生生徒等納付金収入	10,267,978
手数料収入	771,881
特別寄付金収入	248,561
一般寄付金収入	9,800
経常費等補助金収入	1,058,114
付随事業収入	201,084
雑収入	149,678
教育活動資金収入計	12,707,096
人件費支出	6,803,250
教育研究経費支出	3,292,451
管理経費支出	743,765
教育活動資金支出計	10,839,466
差引	1,867,630
調整勘定等	△ 12,144
教育活動資金収支差額	1,855,486
施設設備補助金収入	23,929
第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
その他の引当特定資産取崩収入	0
施設整備等活動資金収入計	23,929
施設関係支出	599,455
設備関係支出	353,476
第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
その他の引当特定資産繰入支出	132,000
施設整備等活動資金支出計	1,084,931
差引	△ 1,061,002
調整勘定等	126,845
施設整備等活動資金収支差額	△ 934,157
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	921,329
借入金等収入	0
長期貸付金回収収入	27,595
短期貸付金回収収入	250
預り金受入収入	2,097,875
貯蔵品売却収入	30
その他の収入	18,614
小計	2,144,364
受取利息・配当金収入	53,015
過年度修正収入	0
その他の活動資金収入計	2,197,379
借入金等返済支出	512,750
長期貸付金支払支出	54,500
短期貸付金支払支出	3,250
預り金支払支出	2,120,883
その他の支出	18,133
小計	2,709,516
借入金等利息支出	71,407
その他の活動資金支出計	2,780,923
差引	△ 583,544
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	△ 583,544
予備費	25,585
法人本部費配賦額	294,499
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	17,701
前年度繰越支払資金	32,824,463
翌年度繰越支払資金	32,842,164

第8表 2019年度 事業活動収支予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	予算額
学生生徒等納付金	10,267,978
手数料	771,881
寄付金	261,861
経常費等補助金	1,058,114
付随事業収入	201,084
雑収入	149,691
教育活動収入計	12,710,609
人件費	6,796,735
(退職給与引当金繰入額)	(167,472)
教育研究経費	4,616,100
(減価償却額)	(1,320,149)
管理経費	867,742
(減価償却額)	(123,977)
徴収不能額等	0
教育活動支出計	12,280,577
教育活動収支差額	430,032
受取利息・配当金	53,015
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	53,015
借入金等利息	71,407
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	71,407
教育活動外収支差額	△ 18,392
経常収支差額	411,640
資産売却差額	0
その他の特別収入	29,079
(現物寄付)	(5,150)
(施設設備補助金)	(23,929)
(過年度修正額)	(0)
特別収入計	29,079
資産処分差額	20,002
その他の特別支出	0
特別支出計	20,002
特別収支差額	9,077
予備費	25,585
法人本部費配賦額	276,461
基本金組入前当年度収支差額	118,671
基本金組入額合計	△ 1,304,568
当年度収支差額	△ 1,185,897
前年度繰越収支差額	6,793,952
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	5,608,055
(参考)	
事業活動収入計	12,792,703
事業活動支出計 ^(※)	12,674,032
経常収入	12,763,624
経常支出	12,351,984

(※)法人本部費配賦額を含む。

■ 後援会定例評議員会

2019年6月29日(土)ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で、南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会は在学生の父母等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から118名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2018年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2019年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認され、2019年度は9月28日(土)に第47回「父母の集い」を大学と共催することが



決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される木村隆嗣様に、鳥巢学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には浅野好昭様が就任されました。



後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>

後援会貸借対照表

2019年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	69,512,871	課外活動援助基金	27,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	604,204
合計	69,512,871	合計	69,512,871

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	123,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	△100,000,000		
合計	27,724,604	合計	41,184,063

■ 友の会評議員会・総会

2019年7月17日(水)ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月17日現在の会員数は一般会員280名、法人会員131法人となっています。

総会では、(1)2018年度事業報告および決算報告、(2)役員改選(案)、(3)2019年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参加させていただき、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。また、その後行われた懇親会の席において、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2018年度決算	2019年度予算
収入の部		
前期繰越金	2,823,822	604,204
入会金	2,200,000	1,996,000
会費	183,500,000	176,000,000
課外活動援助基金取崩	100,000,000	0
合計	288,523,822	178,600,204
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	174,000,000	163,000,000
留学生支援活動援助費	(64,000,000)	(58,000,000)
教育研究図書援助費	(52,000,000)	(51,000,000)
履修関係費	(7,000,000)	(6,000,000)
広報活動援助費	(10,000,000)	(7,000,000)
課外活動援助費	(35,000,000)	(35,000,000)
就職指導活動費	(6,000,000)	(6,000,000)
グラウンド人工芝整備・クラブハウス改修援助金	100,000,000	0
後援会活動費	9,919,618	10,500,000
父母の集い	(1,770,573)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,702,020)	(5,900,000)
事務費	(1,247,025)	(1,400,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	604,204	700,204
合計	288,523,822	178,600,204

■ 寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

安田衣里様	高見裕子様	今村洋美様	山内義之様	金森英治様	鈴木俊郎様	川口の婦子様	長村 中様
安田侑加様	森野真治様	熊谷典子様	加藤勝子様	川嶋宏子様	安藤勝廣様	武鹿照崇様	山本睦美様
林 登様	笠原由佳様	後藤 悟様	村上千賀子様	佐藤元昭様	渡辺良一様	鎌田れい子様	成光弘之様
山内正幸様	藤森かよ子様	本多 久様	山根秀夫様	楯野起代子様	永井敬三様	加藤守人様	早川和美様
芹澤葉子様	村井雅彦様	藤井英二様	加藤洋子様	塚本孝平様	伊藤 光様	池口裕子様	青山 玄様
林 薫様	杉本 彩様	加藤祥子様	伊藤容子様	山田啓子様	川上敬一様	木田洋子様	青木 清様
林 絵梨様	堀江崇之様	井村 元様	梶川正勝様	川田政勝様	荒川三枝子様	西尾彰芳様	
藤村 滋様	佐藤俊介様	菱田 昭様	梶川礼子様	太田隆久様	河合弘二様	渡邊恭子様	匿名ご希望者
天野八郎様	前原伽奈様	遠藤経子様	沼田明子様	近藤靖子様	石川理恵様	山下茂治様	27名様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

長坂 裕一様 藤森かよ子様 南山大学同窓会 会長 松岳 大樹様 匿名ご希望者2名様

■ 新任教員紹介

2019年9月1日付

●外国語学部

教授 今井 隆夫

(専攻分野:応用言語学、英語教育)

■ 退職

2019年8月31日付

●外国語学部

准教授 芝田 亮介

2019年9月30日付

●教職センター

講師 山崎 智子

本学名誉教授 ペドロ・シモン師がご逝去

本学名誉教授のペドロ・シモン師(89歳)が、2019年8月22日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。